

八幡神社 「平成28年遷宮」まとめ

* 会務報告

* 会計収支決算報告

* 寄附金各地区一覧

平成29年6月25日

平成29年度定例総代会

八幡神社「平成 28 年遷宮」経過報告 (H22 年 12 月～H29 年 6 月)

平成 29 年 6 月 25 日 平成 29 年度定例総代会

< 遷宮関係 > (日付：総代会以外は役員会、代表者会議等)	< 文化財・文化行事関係 > (夫々報道多数あり)
<p>H22(2010)</p> <p>12 月 役員会、社殿腐蝕調査—前遷宮から 50 年近くになり傷み大</p> <p>H23(2011)</p> <p>1～2 月 社殿調査 (大阪・金剛組)</p> <p>6/19 総代会 {以下 (総) と略す} 遷宮検討、所蔵文化財評価の取組み</p> <p>8 月 拝殿破損調査 (金剛組)</p> <p>9/26 (臨総) 遷宮実施を決定</p> <p>H24(2012)</p> <p>2 月 拝殿再調査・社殿改修検討結果 (金剛組) ; 見積り額 1 億円</p> <p>4～5 月 社殿調査 (地元業者数社)</p> <p>6/24 (総) 遷宮事業検討、神札授与社務受付所建設決定</p> <p>8 月 社殿改修再見積り (金剛組) ; 見積り額 8800 万円</p> <p>12 月 神札授与社務受付所完成</p> <p>「H28 遷宮開催」立て看板設置</p> <p>H25(2013)</p> <p>2/19 遷宮工事「金剛組を断り地元業者で」の方針決定 文化財指定 (市、県、国) にむけての取組み推進</p> <p>3/16 (臨総) 遷宮趣意書 (案) 検討、神札授与社務受付所建築費は 基本財産より一時借入 (後、返金 ; 済)</p> <p>3 月～8 月 各地区への遷宮説明会開催 (宮司、会長以下役員) 「遷宮趣意書・募金依頼書 (募財要綱)、寄附申込書、 八幡神社由緒書」配布 小町、坂中、福市三区、遠藤、水浜、鶴田、長者原、押口、</p>	<p>H23(2011)</p> <p>2 月～ 「三十六歌仙額」発見・調査研究 (米子高専原豊二助教、 現ノートルダム清心女子大学准教授)</p> <p>8 月 「三十六歌仙額」研究報告大型パネル 10 枚 米子高専奉納</p> <p>9/15 (秋祭) 「誉田別尊」掛け軸、約 200 年ぶり公開</p> <p>10/28～12/4 米子市立山陰歴史館 「中村一忠と八幡神社展」—速報—</p> <p>H24(2012)年間を通して所蔵文化財・建物調査 (含依頼) の取組み 島根県立古代出雲歴史博物館、島根県文化財課、 鳥取県立博物館、国立米子高専、大谷大学博物館、 和歌山県立博物館、京都大学、松尾大社、関西大学、 鳥取環境大学、米子市文化課、その他多数の専門家</p> <p>H25(2013)</p> <p>4 月 神像調査 関西大学長谷洋一教授</p> <p>4 月 「新発見の神像・棟札 (70 余枚) 一般公開・説明会」 4/13 講演 鳥取県立博物館福代宏氏、米子高専藤木竜也助教 元鳥取県立博物館小山勝之進氏 4/14 (春祭) 講演 関西大学長谷洋一教授</p> <p>9 月～10 月 鳥取県立博物館 当社棟札の展示</p>

< 遷宮関係 >	< 文化財・文化行事関係 >
<p>福市一区、吉長、駅前、立岩、小野、東八幡、殿河内、 福市二区、福市四区、福市五区、福市十区</p>	
<p>～12月（説明会続き）</p>	
<p>八幡、諏訪、田園町、リバータウン等世話人を通じ要請</p>	
<p>6/30（総） 遷宮特別会計設置、寄附依頼活動推進、文化財調査と再評価 ホームページ「米子 八幡神社」開設</p>	<p>H26(2014)</p>
<p>9/5（臨総） 寄附進捗状況、遷宮運営組織部門・担当（案）</p>	<p>3月 県文化財課へ所蔵文化財の調査依頼</p>
<p>10/30 遷宮用金融口座開設；4ヶ所+郵便局振込伝票用</p>	<p>3月 当社所蔵文化財の各種調査研究結果発表・報告</p>
<p>H26(2014)</p>	<p>「源氏物語 解題と紹介」立命館大須藤圭助教</p>
<p>3/9 大注連縄制作の計画について</p>	<p>「古文書類整理解読」米子高専松崎安子助教</p>
<p>5月 遷宮寄附芳名板設置（東八幡奉賛会）</p>	<p>鳥取県立博物館大嶋陽一氏</p>
<p>6/29（総） 必要な修繕工事の検討（拝殿傾斜、白蟻、屋根雨漏り等） 遷宮寄附の現状と推進</p>	<p>「棟札73枚の調査」米子高専藤木竜也助教</p>
<p>H27(2015)</p>	<p>4/13（春祭）講演会</p>
<p>3月（臨総） 社殿工事安全祈願祭（案） 寄附活動推進、運営組織体制難（この間部門担当の断り多数）</p>	<p>1. 「八幡神社の歴史と由緒」鳥取県立博物館大嶋陽一氏</p>
<p>4/12（春祭） 社殿工事安全祈願祭</p>	<p>2. 「八幡神社建築意匠と棟札」千葉工大学藤木竜也准教</p>
<p>5月 拝殿傾斜修繕工事</p>	<p>3. 「出雲大社遷宮工事と八幡神社彫刻」大工棟梁後藤史樹氏</p>
<p>6/28（総） 遷宮寄附活動の推進 現在1700万円（予定申込額3750万円） 「屋根替え工事中心にせざるを得ない」 会計担当・庶務担当の決定</p>	<p>5～6月 社殿、彫刻調査 鳥取環境大学浅川研究室、後藤史樹氏</p>
<p>8/22（臨総） 遷宮関係経過報告と確認、運営組織問題、寄附活動推進、 「遷宮奉賛会代表者会議」設置し推進（地区代表1名+顧問） 屋根替え工事を主体とし専門業者に依頼</p>	<p>8～9月 社殿・文化財調査 鳥取環境大学浅川研究室</p>
	<p>H27(2015)</p>
	<p>4/12（春祭）講演会「八幡神社の棟札と拝殿裏股の年代」</p>
	<p>1. 棟札からみた八幡神社の造替 原島修氏（地域史研究家）</p>
	<p>2. 科学的年代測定と様式—八幡神社拝殿裏股を中心に— 浅川滋男教授（鳥取環境大学）</p>
	<p>3. コメント 眞田廣幸氏（倉吉文化財協会会長）</p>

< 遷宮関係 >

9～12月（ほぼ毎月会議）工事案、工事業者検討、
寄附状況確認と推進・詰め、遷宮斎行日検討

H28(2016)

- 1/18（臨総）遷宮日程の決定；4/10 出遷宮 10/30 正遷宮
「遷宮」の意味と意義レクチャー 春日裕文氏
米子市指定文化財決定の報告（市文化課2名）
「神像7軀、狛犬一対を市有形指定文化財に決定」
- 2/13 建築工事業者決定・契約；(株)石原建築
- 3月 御仮殿（神楽殿）工事
- 4/2 4/10 出遷宮準備・当日について
- 4/10（日） 出遷宮祭 8時～12時**
湯立て祓いの儀、鉾始の儀、御木曳奉曳の儀、御柱立の儀
御動座渡御行列、仮殿祭、春季例大祭、75膳の神事
・奉仕；大人約80名、御木曳・御柱立の子供約20名、
参拝者多数
- 4/11～ 遷宮工事開始
- 4/29～5/2 大注連縄制作・取付（東八幡奉賛会）
- 5月 遷宮寄附芳名板（2枚目）設置（東八幡奉賛会）
- 6/26（総） 正遷宮行事・境内工事検討（資金との関係）
…隋神門屋根、手水舎、調度品、記念誌・ビデオ等
- 9/3 工事・寄附状況、正遷宮執行準備（案内状、散餅、記念神札、
奉仕参加者・稚児募集）

< 文化財・文化行事関係 >

H28(2016)

- 2月 再発見神像の調査 関西大学長谷洋一教授
- 3/20 講演会
1. 「木の建築をつくる技術の歴史」
渡邊 晶氏（建築技術史研究所所長）
2. 「八幡神社の神像」 関西大学長谷洋一教授
—再発見神像7軀を含め32軀の神像について—
- 5/7 工事中の本殿屋根裏・小屋組見学 米子高専建築学科
- 5月 元倉吉市文化財専門官・米子市文化課視察
- 6月 国登録文化財にむけての所見 千葉工業大藤木竜也准教授

< 遷宮関係 >	< 文化財・文化行事関係 >
<p>9/25 正遷宮案内状（全地区&崇敬者）、前日・当日の準備と段取り</p> <p>10/16 前日・当日の流れ確認、役目の詳細段取り 工事は正遷宮日ギリギリ終了の予定（実際は一部残った）</p>	
<p>10/30(日) 正遷宮祭 8時～12時30分 修祓の儀、湯行の儀、本殿遷座仮殿祭、御動座渡御行列、 本殿遷座祭、記念撮影、奉祝上棟祭（屋根清祓いの儀、散餅） 七五三祈願祭、表彰式、鏡開き、乾杯、万歳三唱 記念御神札渡し ・奉仕；大人約130名、稚児13名+保護者、舞奉納3名、 参拝者数 約500名</p>	
<p>～11/6 大屋根見学会 ― 連日見学者多数</p>	
<p>11/13 遷宮中間まとめ、残工事（木工、雨樋、防犯設備）の実施、 関連工事の検討（隋神門屋根）；追加寄附で実施を決定</p>	
<p>H29(2017)</p>	<p>H29(2017)</p>
<p>2/12 隋神門屋根替工事修祓式</p>	<p>4/28～5/28 「米子の神社」展 米子市立山陰歴史館 当社の神像、狛犬、唐櫃、古文書出展</p>
<p>～5月 隋神門屋根替工事</p>	<p>5月 神像再調査・撮影 関西大学長谷洋一教授</p>
<p>6/25 (総) " 完了奉告祭 遷宮まとめ（会務報告、会計決算報告）</p>	<p>「神像彫刻重要資料集成・西日本編」（国書刊行会）掲載用</p>